

ゲスト

地区米山記念奨学委員 浅倉 伸治 氏 (豊橋 RC)

米山奨学生 エンフトブシン・オンドラハ さん (通称：ウケナーさん)

出席報告

会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	10月5日修正出席率	ビジター
52名	47名	7名	13名	72.34%	91.30%	7名

会長挨拶

安田 直樹 会長

先日、私の地元「烏塚神社」で祭礼がありました。この神社には全国でも珍しい八咫鳥が祀られていて、近年密かに注目されています。ただ八咫鳥が祀られていることが確認できたのは数年前のことで、地元の方が興味をもって調べた結果わかったそうです。本日は米山奨学がテーマです。奨学生ともお互いに興味をもって関係を深められたらと思います。

本日のプログラム

『ロータリー米山奨学に対する思いとロータリーに対する思い』

米山奨学生 エンフトブシン・オンドラハ さん
(通称：ウケナーさん)

奨学生になって学校生活での影響とこれからの研究、今年の夏休みについてお話したいと思います。今年の4月から豊橋技術科学大学へと編入することになりました。大学になってからモンゴルからの奨学金がなくなり、親からの仕送りも困難になっていた頃に米山奨学生に採用して頂きました。おかげでアルバイトに時間をとられずに勉学やサークル活動で色々な方と関わることで視野が広がり、大変充実した大学生活を送らせて頂いています。高専では排水処理装置の研究をしていましたが、引き続き研究をしていくのが困難になりましたので、これからは都市交通システムの研究室に入りたいと思っています。今年の夏はモンゴルに帰りました。3年ぶりの帰郷でしたので、家族や友人に会うことができ楽しかったです。



『米山記念奨学事業の現状とウィズ・コロナでの今後の課題について』

地区米山記念奨学委員 浅倉 伸治 氏 (豊橋 RC)

私は米山奨学委員会にかかれこれ5年関わっています。昨年はベトナムの奨学生のカウンセラーをさせて頂いておりましたし、多くの奨学生と付き

合っていると、日本が大好きな方ばかりです。米山奨学生はお金がない方を、というのではなく、母国と日本の架け橋になってくれる方を支援しようというものです。豊橋東 RC さんで受け入れられているウケナーさんがクラブのメンバーと更に交流を持っていただいて、モンゴルと日本、そして豊橋の架け橋となって欲しいな、と思います。クラブの会員は男性が多いので、女性の奨学生を受け入れるのには色んなところで気を遣うということをよく耳にします。そういったところを解消するには、クラブ会員全員が気に掛けて声を掛けるだとか、食事に誘ってあげると良いと思います。また、カウンセラーを担当することでロータリー活動を前向きに考えることが増えますので、5年目、6年目など比較的新しい会員の方もカウンセラーを担当されるとロータリアンとしての資質も高まるのではないのでしょうか。豊橋東 RC さんには全国平均に対して非常に高い寄付をいただいております、思いやりに感謝してもし尽くせませんが、これからもご協力宜しく御願います。また、ウケナーさんをクラブ会員全員でお世話するつもりで関わって頂いて、ウケナーさんがいずれ就職するなり、国に帰った時に豊橋の素晴らしい思い出も共に持って帰って頂いて、また新しいモンゴルからの奨学生を送り出すきっかけになってくれたら良いと思います。



3分間スピーチ

川原 元則 さん

10月23日の私の誕生日に第37回日本学生拳法競技会がありました。教え子が男女ともに決勝に進んだのでそのご報告をさせて頂きます。自分が審判をした試合が決勝という、ある種、運命的なことだと感じました。また皆さんに拳法とはこういうものだよ、っていうことを知って頂きたく発表させて頂きました。

